寝屋川市議会議員　立憲民主党　スマイル NEWS　夏号

にしお　勝成　市政報告



住所：寝屋川市三井南町 1-1-101　連絡先：080-4244-7728
EMAIL：katsu240@mint.ocn.ne.jp　ブログ：http//ameblo.jp/katsunari240

2021 年 8 月発行
Vol.7

★新型コロナワクチン集団接種会場拡充等に約 5.5 億円の補正予算が可決★



集団接種会場は 8 月 1 日までコミュニティセンター4 か所、市民体育館、学び館、保健福祉センター、イオンモール四條畷、中学校 4 校（土日 1 週ごとに変わる移動会場)となっていましたが、8 月 2 日から若い世代の接種を進めるために、大阪電気通信大学駅前キャンパスを会場として、今まで 17 時までの接種時間を毎日 20 時まで拡充。(各コミュニティーセンターは 8 月 1 日で終了)平日受けにくい若い世代向け、又暑さ対策に昨年エアコンが設置された、中学校を 2 校土日の会場に追加しました。

予算の内容は、会場設営、会場運営、医師等への報償費、チラシの作成・配布費用等となっています。

ワクチン供給量が減らされると報道があった中で新規会場開設に多額の予算を組むより、現状の会場の改善に取り組むべき等議会で議論されました。

★大阪電気通信大学駅前キャンパス取得の補正予算が可決★

当初予算で組まれたいた不動産鑑定が終わり、議会では他に競合する相手がいないこと、建物の形状が特殊であることなどから減額しての取得をするべき、取得見送りの選択等の議論がされましたが、鑑定額と消費税を併せた**約１６億９５００万円**で取得の補正予算が可決されました。

今後、新たな庁舎となる計画ですが、行政が示した「ターミナル化構想推進計画」では庁舎機能の集約ではなく分散となり、業務遂行上の合理性を欠くことから、将来を見据え、コンパクトで機能的な庁舎となるように、ゼロベースで再考することを会派から求めました。

今後の予定として、改修設計の予算、改修工事費の予算などが議論され、問題がなければ令和 4 年度に改修工事、令和 5 年度中に（仮称）駅前庁舎としてオープンすることとなります。

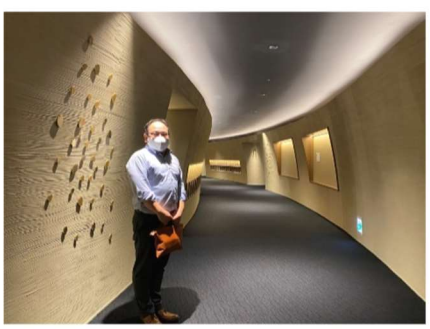
★新しい寝屋川市立中央図書がオープンしました★

8 月 5 日寝屋川市駅前アドバンスねやがわ 1 号館 4 階に、**新しい**中央図書館がオープンしました。

限られた空間が広く感じられるように設計され、カフェもあり、お洒落な落ち着く空間となっています。今後は既存の 2 号館駅前図書館キャレルを改修し、(仮称)こども専用図書館として令和 5 年度オープンの計画、1 号館 5 階はその後生涯学習施設として整備することが検討されています。

市民の皆様にとって、より良い図書館となるように更なる議論を続けてまいります。







○6月議会一般質問○　※内容は 6 月議会時です。全文はブログに記載しております。



★ワクチン接種について

【にしお】国が導入した VRS ワクチン接種記録システムは、利用すると簡単に市内の状況はもちろん全国共通で接種の状況が分かるシステムでしたが、6 月上旬大阪市や府内いくつかの自治体で利用が進んでいないとの報道がありました。寝屋川市では問題なくシステムが運用されているのか。

【行政側答弁】

集団接種会場では適切に運用されており、個別の医療機関へはお願いしている状況です。

※バーコードの読み取りエラーが出たり、入力に手間がかかるため運用していない医療機関も多いとの話です。そのため国も地方自治体も全ての状況の把握はできていない状況にあります。

◎その他の質問の一部

・時間・場所等若い世代への接種を進める方法について質問

・コンセントが抜けワクチン 510 回分を廃棄した件を受け、NTT の Iot を活用した温度情報の自動収集、異常時には連絡が入るシステム「スマートコネクト HACCP 対応サービス」の導入を提案。

★個別避難計画と災害時要支援者名簿について

【にしお】本年 5 月に改訂された災害対策基本法に、個別避難計画（災害時要支援者名簿を作成し重度の障害をお持ちの方から対応）は「福祉部局など日常の支援者と地域住民とが連携して策定する」とあります。現在の進捗状況をお答えください。

【行政側答弁】

他市の取組み状況等を調査中。防災課と福祉部が連携を図り策定していきます。

※今まで災害は防災課という意識が強かったが、支援を必要とする方に日常から近い福祉部とがしっかり連携すること。また災害に関して普段から全庁一丸となって考え対応することを要望。

★子ども支援について

【にしお】国ではこども庁等の議論が活発になり、寝屋川市でも本年 4 月 1 日部局を越えた「子育て・教育総合支援本部」ができました。現在は就学前教育のことが前面で動いていますが、出産から子育て、教育、いじめ、虐待、ひきこもり等取り組んでいることがあるのか。

【行政側答弁】

子どもの成長段階に応じた支援施策の整理、ニーズ把握に基づく子育て支援施策、教育の周辺環境の整備など、庁内連携して取り組むことを考えています。

★子どもの権利条例の制定について

【にしお】1989 年国連総会で「子どもの権利条約」採択、日本は 1994 年批准、大阪府では 2007 年、東京都やお隣枚方市では今年、名前に少し違いはあるものの、子どもの権利条約にのっとった条例が施行されています。寝屋川市でも「子育て・教育総合支援本部」ができた今こそ、条例を制定する時だと考え、強く要望するがいかがでしょうか。

【行政側答弁】

大阪府の条例などの趣旨を踏まえ、庁内関係課・関係機関が連携を密に取り支援を実践しているため現時点において理念条例の制定は考えておりませんが、「子育て・教育総合支援本部」の取り組みを進める中で、今後市内外へメッセージを発信する機会があるものと考えております。

■ 寝屋川市議会議員　にしお　勝成 ■ 2019 年 4 月寝屋川市初の 1 票差で当選 1 期目
■ねやがわ未来議員団　■総務都市創造常任委員会　■立憲民主党 ■昭和 52 年 11 月 20 日寝屋川市生まれ　■前職 認可保育園 園長　■私立恵愛幼稚園 ・寝屋川市立第五小学校・第六中学校卒業 ・私立啓光学園(現・常翔啓光学園)高等学校卒業・大阪経済法科大学法学部・法律学科卒業
■寝屋川市消防団員、寝屋川青年会議所シニアクラブ、寝屋川市倫理法人会、ねやキッズ実行委員会など所属
【資格など】ホームヘルパー2級、柔道初段、防災士、応急手当普及員、防火管理者、衛生推進者など